

SHOW HEYシネマルーム

★★★★★

フェア・ゲーム

2010年・アメリカ映画
配給/ファントム・フィルム、ポニーキャニオン
108分

2011(平成23)年9月20日鑑賞

東映試写室

Data

監督:ダグ・リーマン

出演:ナオミ・ワッツ/ショーン・
ペン/サム・シェパード/ノ
ア・エメリッヒ/ブルース・
マッギル/デヴィッド・アン
ドリュース/ブルック・スミ
ス/マイケル・ケリー

👁️👁️ みどころ

2001年の9.11世界同時多発テロから10年。イラク戦争の動機とされた、大量破壊兵器の有無は?「プレイム事件」は日本人に馴染みが薄いのが、なるほど政権中枢によるこんな情報操作があったとは!

ネタとしては面白いし、2人の主演も最高だが、これはドキュメント?それとも人間ドラマ?その中途半端さが、私には少し不満・・・。

— * — * — * — * — * — * — * — * — * — * — *

■□■さすがアメリカ! 10年後にはこんな映画が! ■□■

9.11世界同時多発テロが起きたのは、2001年のこと。それからちょうど10年が経ったが、今ではテロ直後からブッシュ大統領が主導したイラク戦争開始の「大義」をめぐって、大きな問題があったことが明らかになっている。それはつまり、イラクは本当に大量破壊兵器を保有



『フェア・ゲーム』10/29(土)より、TOHO シネマズ大本木ヒルズほか全国公開
オフィシャルHP: fairgame.jp 配給: ファントム・フィルム/ポニーキャニオン
© 2010 Summit Entertainment, LLC. All Rights Reserved.

していたのか否か、ということだ。CIAをはじめとする各情報機関がイラクは大量破壊兵器を保有していないと報告していたのに、もし大統領周辺がそれを黙殺し、敢えてイラク開戦に向けて情報操作をしていたとすれば・・・？

さすが民主主義国アメリカ！9. 11世界同時多発テロから10年後の今、そんなリアルな問題が映画になるとは！

■□「プレイム事件」とは？日本では？■□

ナオミ・ワッツが演じる本作の主人公ヴァレリー・プレイムは、証券会社で働きながら夫ジョー・ウィルソン（ショーン・ペン）と2人の子供たちと幸せに暮らしている女性だが、実はCIAの優秀な秘密諜報員というから驚き。アメリカにはそんな世界があるわけだ。映画冒頭からそのカッコいい活躍ぶりが描かれるが、ヴァレリーが任務を遂行した結果得た結論は「イラクに核兵器開発計画はない」ということ。ところが、ブッシュ政権はそんな報告を無視して、03年3月20日遂にイラクへの戦争を開始した。それは一体なぜ？他方、元アフリカのニジェール大使だった夫のジョーも国務省の依頼でニジェールへ行き、調査した結果、「イラク政府が核兵器開発に必要な濃縮ウランを密かに買い付けているとの事実はない」という結論を得ていた。

ヴァレリーはしぶしぶCIA上層部の指示に従って黙っていたが、ブッシュ大統領のイラク開戦の決断に納得のいかないジョーは、その4ヵ月後、自身の調査報告を元にイラク戦争の



“真実”をニューヨーク・タイムズ紙に寄稿したから大変。そこから、ブッシュ政権を揺るがす大論争が引き起こされることになったが、その直後に何とヴァレリーはCIAの秘密諜報員だという情報がリークされたため、ジョーとヴァレリーの生活は一変することに。

『フェア・ゲーム』10/29(土)より、TOHO シネマズ六本木ヒルズほか全国公開
オフィシャルHP: fairgame.jp 配給: ファントム・フィルム/ポニーキャニオン
© 2010 Summit Entertainment, LLC. All Rights Reserved.

2007年10月に出版された『Fair Game: How a Top CIA Agent Was Betrayed by Her Own Government (格好の標的: CIAのト

ップエージェントは、いかにして国家に裏切られたか』は実在する元CIAの女性エージェント、ヴァレリー・ブレイムがそんな政府との戦いを赤裸々に綴った回顧録で、当時「ブレイム事件」としてアメリカのみならず全世界で話題をさらったらしい。しかし、そんな事件について、さて日本では？

■これはドキュメント？それとも人間ドラマ？■

本作が描くヴァレリーがCIA秘密諜報員であることが世間にバラされた後の、ジョーとヴァレリーのブッシュ政権に対する戦いぶりはきっと事実に沿っているのだろう。また、チェイニー副大統領の首席補佐官であったルイス・“スクーター”・リビー（デヴィッド・アンドリュース）が、このリークを指示したとして起訴され、有罪の判決が下されたことも歴史的な事実。したがって、現実のテレビ映像などを併用しながらの本作のストーリー展開は、結果がわかっているだけに、ドキュメントとも人間ドラマともどっちつかずの感が否定できない。せつかく、ナオミ・ワッツとショーン・ペンという名優がそれぞれ名演技を見せているのに、私がイマイチ本作に没頭できなかった原因がそれだ。

ちなみに、日本でもこの手の政府や官邸中枢の政策決定をめぐる問題点はたくさんあるはずだから、日本も真の先進民主主義国を自負するのなら、是非映画のテーマとしてそんな問題を取りあげてもらいたいものだが・・・。



『フェア・ゲーム』
10/29(土)より、TOHO シネマズ大本木ヒルズほか全国公開
オフィシャルHP : fairgame.jp
配給：ファントム・フィルム／ポニーキャニオン
© 2010 Summit Entertainment, LLC. All Rights Reserved.

2011（平成23）年9月21日記